



### 被災地をつなぐ



### チャリティーコンサート

昨年10月に実施したチャリティーコンサートの第2弾を1月14日に開催しました。今回は「被災地をつなぐ」ことをテーマに、阪神大震災発災の1月17日直前に開催。また第1部として東日本大震災の被災地、岩手県野田村の中学生が復興報告をしました。今回は西宮市南西部の市立浜脇中学校体育館を会場として借用し、同校の合唱部や吹奏楽部、そして地元の兵庫県立西宮香風高校生徒がすばらしい合唱や演奏で協力しました。当日は児童デイサービスの子どもたちや乳幼児、グループホームのお年寄りなど、事前の新聞報道協力などもあって地域内外から様々な人たちが訪れました。当初は100人も来てくれればと思っていましたが、300人近い参加者となりました。



この日は受付に募金箱を置き「西日本豪雨」「北海道胆振東部地震」の支援を呼びかけ、地元団体の寄付も含めて9万円以上が集まりました。この募金は、関わりのある岡山県矢掛町、広島県呉市、北海道安平町の保育園や中学校などで役立てていただきます。

今回は、岩手県野田村の6人の中学生が震災から8年経つ野田村の現状と自分たちの思いを発表し、実質的な「被災地をつなぐ支援」になりました。前回同様中高生たちのまっすぐな思いが参加者に伝わり、とても暖かい催しとなりました。参加者アンケートにもそのことが多く綴られ、今後にもつながるのではないのでしょうか。(NVNAD理事 米山清美)



☆なお、このコンサートの様子は地元テレビ局が取材し、インターネット検索で今も動画が見られます。

URL <http://sun-tv.co.jp/suntvnews/news/2019/01/14/5687/>  
「西宮野田村コンサート」で検索

#### - c o n t e n t s -

- P1・・・ チャリティーコンサート
- P2・・・ 小学生のぼうさい探検隊マップコンクール
- P3・・・ Vision 117/1.17シンポジウム/障がいと防災に関するワークショップ
- P4・・・ 西日本豪雨災害支援活動/よどがわ防災まつり
- P5・・・ 防災ふれあいウォーク/宮っ子ウォーキング/白旗城まつり/生協まつり
- P6・・・ KSN交流会/子ども防災クラブ/丹波・地元イベント/久崎市
- P7・・・ チャリティーカレンダー市/美かえる大キャラバン/Nうごき
- P8・・・ Nごよみ/会員・寄付者・募金者のみなさま/編集後記

# 第15回

## 小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール



1月26日東京の損保会館にて「第15回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式と15回記念式典が開催されました。

今年は全国の556団体からマップ2,865作品（参加人数合計17,983名）が届けられました。この中から厳正な審査により各種の賞が授与されます。NVNADは、毎年「わがまち再発見賞（日本災害救援ボランティアネットワーク賞）」を授与していますが、今年を受賞校は愛媛県立愛南町立東海小学校（団体名：東海9）でした。2年生、4年生～6年生合計9名が作成したマップは、大津波に備えて避難場所・避難経路をすごろくのマス目で示したものです。サイコロの

目によって避難経路のどこかで立ち止まります。そこには、実に考えさせられる問いが待っています。1つ1つ考えながら避難場所に到達していくすごろくで、楽しみながら津波避難に対する具体的な場面を学ぶことができます。さらに、買い物や散歩などの途中であればどうするか、そのために何をもって買い物や散歩に行くかなど、「ながら防災」に関する様々な提案も書かれています。極めて優れたマップになっていると感心しました。東海9の皆さん、おめでとう。

15年の歩みを振り返る式典は、創設時から損保協会として多大なご尽力をいただきました宇田川様（現業務企画部長）より15年の歩みをお話いただき、今回作成された「防災探検隊15年の軌跡」と題するビデオの上映がありました。続いて、主催者である日本損害保険協会、朝日新聞社、日本災害救援ボランティアネットワークがお世話になってきた皆さまから嬉しいコメントをたくさん頂きました。15年間1年も欠かさず参加された豊田市足助小学校の先生、愛媛県愛南町で工夫に満ちたマップを作り続けて後輩の先生方をも育ててこられた先生、また、ご自身が小学生の頃マップを作り受賞され、現在は看護師を目指して頑張っているという大学生などから、マップコンクールの意義やその後の生活への影響まで語って頂きました。客席で聴かせていただきながら涙が出そうになりました。阪神・淡路大震災後に、西宮で細々と始めた活動をここまで育てていただきましたことに、損保協会様、朝日新聞社様はじめ各方面の皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

表彰式後の交流会では、損保協会専務様より「素晴らしい活動なので、15回で止まらず、30回、50回、いや100回に向けて頑張ろう！」とご挨拶をいただき、さらに嬉しく、また、身の引き締まる思いでした。

15年間で、応募されたマップは累計26,860作品、参加児童数は総数185,468名となりました。審査委員長の室崎先生（神戸大名誉教授）からは、「マップをつなげて富士山よりも高くなるように頑張ろう」と盛り上げていただいています。第16回からもさらに広く多くの皆さんに、また、多様な皆さんにご参加いただけるよう主催者（の1つ）としてますます頑張っていきたいと思ひます。改めまして、皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

NVNAD理事長 渥美公秀

# Vision 117

毎年1月は、あの日からのことに想いを馳せる日が続きます。

あれから24年となる1月17日。今年は、中越沖地震の被災地、東日本大震災の被災地でお世話になってきた皆さまをお迎えすることができました。野田村からは、毎年、中学生が西宮の中学校と交流しています。1月16日夕方には全員が集まって、阪神・淡路大震災で被災した皆さんを交えて、それぞれの復興にまつわる活動を報告して交流を深めました。1月17日あの時間には、神戸や西宮で追悼行事に参加して想いを馳せていただきました。

1月26日には、東京の損保会館で「第15回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式と15回記念式典が開催されました。今年は全国

の556団体からマップ2,865作品（参加人数合計17,983名）が届けられ、NVNADから愛媛県立愛南町立東海小学校(団体名：東海9)に「わがまち再発見賞（日本災害救援ボランティアネットワーク賞）」を授与しました。大津波に備えて避難場所・避難経路をすごろくのマス目で示した素晴らしいマップでした。振り返れば、このコンクールも15回となります。15年間で、応募されたマップは累計26,860作品、参加児童数は総数185,468名となりました。阪神・淡路大震災後に、私どもが西宮で細々と始めた活動をここまで育てていただきましたことに、損保協会様、朝日新聞社様はじめ各方面の皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

阪神・淡路大震災から25年目となる今年。NVNADとしましては、引き続き、被災された皆さまにしっかりと寄り添いながら、くらしのちを見つめて活動を続けて参りたいと思います。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(理事長 渥美公秀)

## 1.17シンポジウム

1月17日（木）大阪大学吹田キャンパスにて、OOS協定締結記念シンポジウムが「人科生と災害 防災、救援、復興支援」をテーマに開催されました。NVNADも協定

団体の一員として出席してきました。出席団体の野田村役場様やNPO法人北いわて未来ラボ様とは、これまでも災害支援や防災などの分野で色々な取り組みをご一緒に行っていますが、今回、企業様とも情報交換させていただくことが出来たので、この協定を基により一層連携の幅を広げて、地元地域の中での防災・減災の取り組みを展開していければと考えています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。今回のシンポジウム開催にあたりまして、準備や運営で大変お世話になりました大阪大学OOS協定事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。



## 障がいと防災に関するワークショップ



11月17日（土）、関西学院大学西宮キャンパスで「障がいと防災に関するワークショップ」を開催した。参加学生は30人。うち電動車椅子使用の学生が2人。まず、階段を使つての避難を体験してもらう。そこで避難のための道具を3つ用意した。1つ目は「イーバックチェア」という階段用ソリ。ソリの部分にブレーキが付き安全に滑り降りる事が出来るのだが、乗った状態で階段の上から見下ろすと結構怖い。2つ目は「カントンカ」。名前のおり長方形の帆布に両側に計8つの輪状の取っ手が縫い付けてあり、それを4人から6人で吊り下げて人を運ぶ。3つ目は「救助帯(たすけたい)」。六角形の不織布の中心に布製のベルトがついていて、これを基本2名で吊り下げ運ぶという形。今回は5人がチームを作り、それらの道具を実際に使ってみたあと、どれがベストかを各グループで評価してもらった。

次に、視覚障害学生の誘導方法を体験。2人一組で、一方がアイマスクを装着し、障害物にみたてた椅子や机を避けながら誘導する。

参加学生は、日頃から聴覚障害者のノートテイク等日常的に学内でのボランティア活動をしているということで、熱心かつリアルにワークショップは進行した。この体験事を通し、今後も具体的な防災活動の進展に期待したい。(NVNAD監事 萩野茂樹)



## 西日本豪雨災害支援活動

**1** 11月24日(日)、岡山県倉敷市真備町に行ってきました。前日入りしていた大阪大学稲場研究室&渥美研究室のメンバーと合流し、市場仮設団地の集会所をお借りして、通販会社フェリシモ様からいただいた救援物資の提供をはじめ、カフェなどの活動を行いました。また、金光教大阪救援隊の皆様による炊き出しのお手伝いもさせていただきました。近隣の仮設団地でも救援物資を配布させていただきましたが、とても好評で、多くの方々に喜んでいただくことが出来ました。倉敷市、および、倉敷市社会福祉協議会の皆様、お世話になりました。



**2** 12月15日(土)午後矢掛町を訪問しました。フェリシモ様からNVNADにご寄付を頂きました様々な物資を町内に配付してくださっているN興業様と町内会長のお宅を訪問。集落のお家の様子をうかがって矢掛町を離れました。まだまだ復興の途上という印象のある矢掛町にはまた改めてお伺いしたいと思います。

続いて、真備のまきび荘を訪問しました。まきび荘は、宿泊施設ではないため、今後は、出られた方々を含めた地域支援に移行するとのこと。支援物資をお渡しし、今後また連携しつつ動ければと話しました。

翌日は、真備の市場仮設団地集会所でお茶会+物資配付+足湯を行いました。午後の2時間程度でしたが、管理してくださっているYさんご夫妻によくて頂きながら、20人程度で和やかな場になりました。足湯には男性4名、女性1名。高齢の男性からは、水が入ったときの様子をじっくりと聴かせていただきました。別の男性からは日頃の健康管理や孫の話。私自身は、久しぶりに足湯をやりましたが、やはり色々なお話が伺える優れたツールだと改めて感じました。今回、参加してくださったグリーンコープさん、倉敷市職員と話し、次回は、グリーンコープさんと協働して餅つきとお茶会のような場をもつことにしました。(渥美公秀)

**3** 1月27日(日)、岡山県倉敷市真備町の仮設団地にて、餅つき大会を行いました！現地ではグリーンコープのみなさまが早朝から準備をしてくださり、11時ごろから餅をつき始めました。ぺったんぺったん…心地のよい音とともにみるみるおいしそうなお餅が^^

屋内では、丸めて伸ばしていちご大福！子どもたちも一緒にいろんな形ができあがりました。お昼が近づくにつれ、集会所にはたくさんの方が来られ、きなこ、ごま、おろし砂糖醤油、チーズ、あんこ…と、次々にできあがるお餅を楽しんでいただきました。つきたてのお餅はやっぱり違いますね！グリーンコープさんお手製の豚汁も大好評でした。

集会所には、今回初めて来られたという方もおられ、このような会を開く意味や大切さを感じました。また、住民の方から「今後も定期的に開いていきたい」と、前向きなお言葉をいただき、大変嬉しく思いました。仮設での生活を、住民の方々が少しでも心地よく、安心して過ごせるよう、何かお手伝いできればと思います。

(大阪大学人間科学部3年 置塩ひかる)



## よどがわ防災まつり



11月3日(土)ラポール枚方にて、枚方市社会福祉協議会主催の第3回「よどがわ防災まつり」が開催され、NVNADも共催として参加させていただきました。ラポール枚方の館内には、地元の企業や団体を中心に店ブースがたくさん設けられ、ポイントラリーや学生企画の防災クイズラリーなども実施されました。また、屋外ではカレーの炊き出しやドローンの飛行実験なども行われました。お天気にも恵まれ、たくさんの方が来場されました。このような機会を通じて、市民の防災意識の啓発と、産・官・学・民など分野を超えて日頃からの連携が広がっていくことを期待したいと思います。準備から運営まで多大なご尽力をいただきました枚方市社会福祉協議会の皆様に感謝申し上げます。

## 防災ふれあいウォーク



11月18日(日)武庫川女子大学にて「防災ふれあいウォーク」を開催させていただきました。南海トラフ巨大地震のお話をした後に、学生による防災クイズを実施し、ウォークラリーをスタートしました。途中、4カ所のチェックポイントを通過し、ゴール会場の栄養科学館では、協賛企業様による災害食の展示・試食コーナーを設置させていただき、最後に主催者側から大阪北部地震や西日本豪雨災害の被災地の様子や、津波避難ビルについて、スライドで紹介させていただきプログラムは終了となりました。協賛企業の皆様をはじめ、当日の運営にご協力いただきましたボランティアの皆様に、心より感謝申し上げます。そして、会場などの使用で大変お世話になりました武庫川女子大学の関係者の皆様、また、準備段階から当日運営までお世話になりました文学部心理・社会福祉学科心理コース2年の学生の皆様に、改めてお礼申し上げます。(尚、この事業は兵庫県制150周年の記念事業として開催させていただきました。)

## 宮っ子ウォーキング



12月2日(日)西宮コミュニティ協会主催で第25回「宮っ子ウォーキング〜わがまちを知る〜」が開催されました。今回はNVNADも共催としてこのイベントに参加させていただきました。コースは健脚と一般、ファミリーの3つのコースに分かれていて、健脚(約10キロ)、一般(約8キロ)ともにスタートは夙川公民館、西宮浜をまわってくるというコース設定で、ゴールは西宮市役所前の六湛寺公園です。また、ファミリーコースは、各家庭からゴールの六湛寺公園を目指し家族単位でウォーキングを楽しむというものでした。お天気にも恵まれ、参加者おのおのが、素晴らしい海や山の景色を眺めながら、自分の歩くペースで、このウォーキングイベントを楽しんでおられたかと思います。



西宮コミュニティ協会の皆様、事務局の西宮市役所の皆様、お世話になりました。

## 白旗城まつり



11月23日(祝)防災研究会の活動として、兵庫県上郡町赤松地区で開催された「白旗城まつり」に参加してきました。白旗城は落ちない城として有名で、この赤松地区では甲冑づくりが盛んに行われており、このお祭りでは、甲冑を着た武者行列がメイン行事になっています。また、会場内には、鮎焼きやうどんなど地元の皆様が出店されていて、たくさんの来場者で賑わっていました。会場に来られていた高齢の方に少しインタビューをさせていただきましたが、高齢者にとっては移動手段の必要性を強く感じました。赤松地区の皆様、上郡町の皆様、大変お世話になりました。

## 生協まつり

11月25日(日)大阪鶴見緑地公園にて「生協まつり」が開催されました。今回は近畿ろうきん様のブースにて、来場した子どもたちを対象に防災意識の啓発を目的に、「ぼうさいダック」というカードを使った防災学習プログラムを実施させていただきました。幼児から小学生までたくさんのお子どもたちが足を止めて参加してくれました。生協の皆様、近畿ろうきんの皆様、ありがとうございました。



# KSN交流会

K S N  
 (関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)

12月20日(木)18時過ぎから、関学会館にて、KSN主催で恒例のクリスマス会を開催しました。関学の関ゼミ生の進行により、まず乾杯のあと食事をいただきました。その後、ゲームやダンスなどを子ども達や保護者の皆様と楽しみました。そして最後に、サンタさんが登場し、家族ごとに素敵なプレゼントをいただき記念撮影をしてプログラムは終了となりました。来年度もまた開催できればと願っています。関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。



1月19日(土)ふれぼの(西宮市社会福祉協議会の施設)にてKSN主催で「子どもカフェ」なる取り組みを行いました。今回から3回シリーズで、子どもたちにカフェについて学んでもらい、3月には保護者の方々にお客さんになってもらって、子どもたちによるカフェを開催したいと思っています。第1回目の今回は、実際にカフェでの店員さんの練習をしたり、お店の名前やメニューなどを相談しました。2月以降の活動もとても楽しみです。



## 子ども防災クラブ

1月26日(土)、高木小学校にて第4回子ども防災クラブの活動を行いました。西宮市社会福祉協議会と高木地区社会福祉協議会の皆様にも



ご協力をいただき、『災害』について考えるプログラムを実施しました。昨年発生した大阪北部地震や台風を例にとり、感じたことや気をつけるといい点などをグループごとに発表したあと、実際に毛布・ダンボール・懐中電灯などを用いて、暗さや寒さをしのぐ製作にも挑戦してもらいました。たくさんの意見やアイデアが出て、充実した時間でした。西宮社協と高木地区社協の皆様、どうもありがとうございました。



## 《丹波・地元イベント》

## 《久崎市》



11月11日(日)、丹波市前山地区の「オアシスいつせ」にて、地元主催の文化祭が開催されました。今回は大阪大学災害ボランティアサークル「すずらん」の学生と一緒に参加してきました。おでんやピザ焼きなどの屋台が出店され、室内では

地元の歌手によるコンサートもありました。土砂災害から4年が経過し、復興工事はおおむね完了したとのことですが、今年の台風では一部地域に土砂崩れなどの被害が発生したようです。これからも丹波市前山地区には継続して訪問できればと思っています。

12月23日(日)、兵庫県佐用町久崎地区で恒例となりました「久崎市」が開催され参加してきました。前日入りしていたチャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)の学生さんたちが中心に、カフェの運営をはじめ、ステージの司会や屋台のお手伝いなどで参加させていただきました。最後に少し小雨は降りましたが、たくさんの来場者



で会場はとてもぎわっていました。久崎の皆様にはいつも大変お世話になり、お礼申し上げます。

# チャリティーカレンダー市



1月11日(金)～13日(日)の3日間、「第23回チャリティーカレンダー市」を開催しました。今年も全国の企業や個人の皆様からたくさんのカレンダーや手帳などをご提供いただき、準備から片付けまで延べ約300名のボランティアの皆様にお手伝いいただきました。初日は、開場前から出来ていた長蛇の列が昼過ぎまで途切れることなく、大変多くの方にご来場いただき、3日間を通しての売上は1,434,450円となりました。西日本豪雨災害をはじめ、被災地での支援活動に有効に活用させていただきます。今回は、準備段階から地元の西宮市社会福祉協議会やさくらFM、関西学院大学やボーイスカウトの皆様が企画運営委員として関わっていただきました。この場をお借りしまして、来場者および関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

## 「イザ！美かえる大キャラバン！」

今年で10回目を迎えたHAT神戸連携防災イベント「イザ！美かえる大キャラバン！2019」。NVNADは、今年も兵庫県佐用町特産品の竹炭を使った【竹炭石けんづくり】を実施しました。石鹼素地に竹炭の粉末と湯を混ぜ、10分ほどで出来上がる体験コーナーは毎年結構な人気ブースで、皆さんに大変ご満足いただいております。過去の災害を教訓として、改めて防災について学ぶこのイベント。今年も講演リレーとして、理事：寺本弘伸による「ミニ講演会」も実施させていただきました。お手伝いくださったボランティアの皆さま、どうもありがとうございました。



## Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

11月	3日	よどかわ防災まつり (大阪府枚方市)
	6日	防災講演会 (奈良県橿原市)
	11日	地元イベント (兵庫県丹波市)
	17日	防災フィールドワーク at 関西学院大学 (西宮市) ニュースVol. 117発行
	18日	防災ふれあいウォーク (西宮市)
	23日	白旗城まつり (兵庫県上郡町)
	24日	西日本豪雨災害支援活動 (岡山県真備町)
	25日	生協まつり (大阪市)
	12月	2日
10日		第15回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール審査会 (東京都)
15～16日		西日本豪雨災害支援活動 (岡山県真備町・矢掛町)
20日		KSNプロジェクト交流会 (西宮市)
23日		佐用町「久崎市」に参加 (兵庫県)
1月	11～13日	第23回チャリティーカレンダー市 (西宮市)
	14日	チャリティーコンサート (西宮市)
	13～17日	野田村・西宮子ども交流事業 (西宮市)
	17日	1.17行事 (神戸市)
	19日	KSNプロジェクト交流会 (西宮市)
	26日	第15回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式 (東京都) 第4回子ども防災クラブ (西宮市)
	27日	西日本豪雨災害支援活動 (岡山県真備町) イザ！美かえる大キャラバン！2019 (神戸市JICA関西)



# Nごよみ

## 今後の予定・講演などのスケジュール

2月	9日	災害ボランティアセンター運営訓練（西宮市）
	17日	KSNプロジェクト交流会（西宮市）
		ニュースVol.118発行
	20日	地域づくりフォーラム2019（西宮市）
	23日	佐用町訪問（兵庫県）
	24日	防災教育事業（西宮市）
3月	2日	親子でわがまち探検隊（西宮市）
		子ども防災クラブ（西宮市）
	3日	防災教育事業（西宮市）
	9～10日	佐用町訪問（兵庫県）
	16日	防災教育事業（西宮市）
	23日	防災教育事業（西宮市）
	24日	KSNプロジェクト交流会（西宮市）
	未定	通常理事会
4月	7日	佐用町桜まつり（兵庫県）



## ～会員・寄付者・募金者のみなさま～

（2018年11月1日～2019年1月31日）

### ■ 会員のみなさま

- 個人正会員：「継続」 定藤美雪
- 個人賛助会員：「新規」 長野 隼
- ：「継続」 柴藤成利、白井潤子、掛田 紀夫、片岡春樹、谷淵啓子
- 法人正会員：「継続」 日本労働組合総連合会大阪府連合会

### ■ 寄付者のみなさま

- 戸口始、戸口京子、フルツカ、株式会社NIコンサルティング
- 近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、楢崎正名、定藤美雪
- ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

### ■ 募金者のみなさま

- 「東日本大震災」 グッドスナカヤマヨシ
- 「西日本豪雨災害」 藤谷啓子、真砂中学校吹奏楽部・関係者の皆様、高井千珠
- 野田村有志の皆様、関西学院大学有志の皆様、カレンダー市にご来場の皆様
- チャリティーコンサートにご来場の皆様
- 「北海道胆振東部地震」 関西学院大学有志の皆様

### ■ ご協力いただいたみなさま

- 株式会社高山堂、株式会社フェリシモ

（順不同、敬称略）

**ご支援、ご協力ありがとうございました。**

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

### 編集後記

今年の冬は全国的にインフルエンザが猛威をふるっている。その上、暖かくなってくるとスギやヒノキの花粉が飛び始める。インフルエンザに罹った人が花粉症を発症すると症状はさらに悪化するという。防災と同じで日頃の予防対策が大切である。（H.T）

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク** [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀